



# My Days in Newcastle

vol. 3

## 目次

1. 秋田のお菓子とその反応
2. 私が思うこれからの "Green Tea" in 伊予
3. おわりに

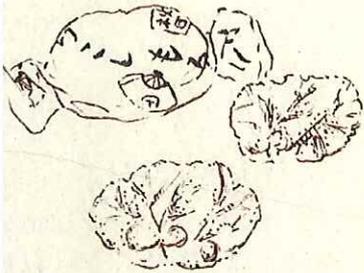
今日の挿絵：ニューカッスル大学キャンパス

私の留学先であったニューカッスル大学 (Newcastle University) は街の中心地に位置し、一体化するようになっていきました。レンガの外壁が印象的な、私の留学のほとんどを過ごした思い出の場所です。

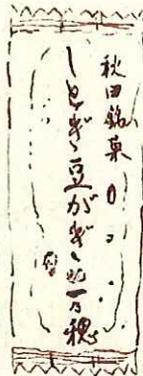
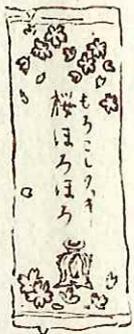


# 1. 秋田のお菓子とその反応

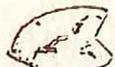
▽「本山堂山堂」に「秋田諸越」



△「あまのこもち」  
△「あまのこもち」



△「しとぎ豆がき」



△「唐土焼」に「桜ほろほろ」



△「元祖檜山茶大高園」に「北限のち茶 檜山茶」

留学に際して、秋田から持参したお茶菓子は左記にあります、「秋田諸越」、「青豆のあまのこもちクッキー」、「しとぎ豆がき」、そして「もろこしクッキー 桜ほろほろ」の4点でした。「檜山茶」と一緒にお出しし、頂いた反応は主に下記の通りでした。

- ・お茶菓子
  - 米菓全般は親しみやすい
  - 塩気が新感覚
  - 日本独特の味は賛否両論
- ・お茶(檜山茶)
  - スモーキーな香りが印象的
  - フレッシュな味が良い

お茶菓子では米菓の人気がとても高かったです。理由としてはグルテンフリーでシンプルな味付けのため、ヘルシーな印象があるからだと思います。一方、イギリスで馴染みのないもろこし等のお菓子は味の想像が困難で、口にしたときにギャップに驚くことが多く、苦手意識を持つ人も一定数おりました。紹介の際、イギリスに存在する近い食べものを例に挙げればより親しみやすくなるのでは? と思います。檜山茶については香りに好印象を持ってくださる方が多かったです。スモーキーな香りが中国系の紅茶であるラフサンズ-フォンを連想させるのだと思います。



### 3. おわりに

1年間の留学が終わり、イギリスにおける私のお茶の文化交流もここで一旦終了です。レポートにまとめ成文化すると非常に短いものになってしまいましたが、お茶を囲み会話に花を咲かせた時間は私の生活の一部であり、実に多くのことを学んだ場でありました。私が緑茶やお菓子をはじめとする秋田のこと、日本のことを発信するたびにどこからか発見と驚きに満ちた反応を頂くことが出来ました。そして発信量を上回るイギリスをはじめとした様々な国の文化についての情報を得るのに月並みではありませんが、一生の財産だと思っております。

「日本のことを知ってもらう！」と意気込み日本を飛び出した私ですが、むしろ背負ったものに助けられていたように思います。沢山の学びを与えてくださった皆様と素晴らしい日本・秋田のお茶文化、そしてご愛読いただいた皆様に感謝申し上げます。今日もどこかの誰かのテイクアウトが素敵なものになりますように、願わくばそこに日本・秋田のお茶とお菓子がありますように！

